



夏休み公開講座

～もっと知ってほしい小児がんの事～

昨年に引き続き8月1日（土）に「夏休み公開講座」を開催しました！
この講座は、未来を担う子どもたちが小児がんへの理解を深めるとともに、
医療職や医療技術への興味・関心を高める機会を提供することを目的として
開催しました。

神奈川県立こども医療センター
もっと知ってほしい小児がんのこと

夏休み公開講座

2026年8月1日(土)
時間:10:00-13:30(開場 9:30)
場所:神奈川県立こども医療センター 体育館
対象:小学校4年生～中学校3年生(定員 50名)
およびその保護者

プログラム

10:00-10:05	開会挨拶
10:05-10:20	授業① 小児がんってどんな病気？ ～ 横濱 とも子 血液・腫瘍科医師部長
10:20-10:35	授業② 小児がんはどのように見つかる！治す！ ～ 北河 徹彦 外科部長/小児がんセンター長
10:35-10:50	体験① 小児がん経験者
10:50-11:05	体験②
11:05-13:30	医療体験 がんの検査や治療を体験しよう ① がん細胞を顕微鏡で見てみよう ② エコー検査をしてみよう ③ 検体採取をしてみよう ④ 内視鏡をのぞいてみよう ⑤ 検診器を使ってみよう ⑥ 救命救急を体験しよう

申込方法
申込専用フォーム・QRコード <https://x.gd/KixQH>
※必ず、PCからの申込を推奨できるように設定してください。

申し込み締め切り 7月20日(月)



血液・腫瘍科部長による授業



外科部長による授業



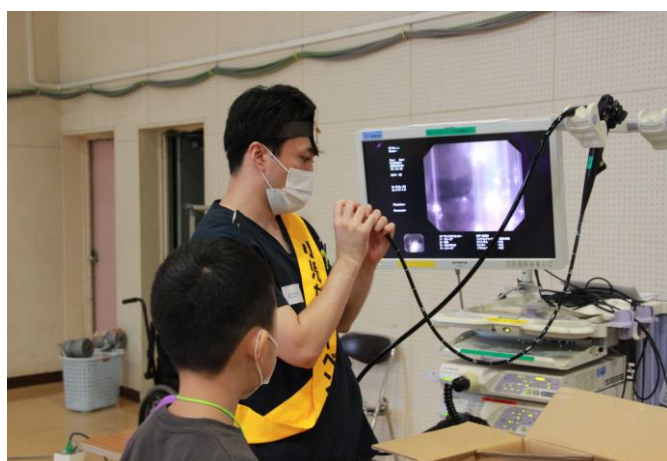
小児がん経験者のお話



がん細胞を顕微鏡で見よう



模擬手術をしよう



内視鏡をのぞいてみよう



聴診器を使ってみよう



救命処置を体験しよう



レモネードスタンド



参加者からのメッセージ

いろいろな本格的な体験ができて良かったです。特に手術体験が楽しかったです。本当のお医者さんに教えてもらえてとてもいい経験になりました。私も検査をしたり手術をしたり、病気を治すことができたらいいなと思いました。



学校では絶対にさわれない器具に触ったりできて、むずかしかったけど楽しかったです。また参加したいです。

手術体験が難しかったから、また挑戦したいです。聴診器が思った以上に聞こえて驚いたし、いろんな音が聞こえて面白かったです。

知らなかったことがたくさん知れた。もし今後友達が小児がんになった際は、優しく声をかけたいと思います



いろいろな本格的な体験ができて良かったです。特に手術体験が楽しかったです。本当のお医者さんに教えてもらえてとてもいい経験になりました。私も検査をしたり手術をしたり、病気を治すことができたらいいなと思いました。



先生やスタッフが額につけている**額帯鏡**は、今年も入院中の患者さんが手作りしてくれました！



今年で3回目の開催となりましたが、今回も多くの小・中学生とその保護者の皆様にご参加いただき、終日賑わいを見せました。

今年新たに設けた救命救急体験では看護師がインストラクターを務め、参加者の皆様に救命処置の基本を体験していただきました。楽しみながら医療や小児がんについて学ぶ貴重な機会となりました。